

活動の機軸を立て直す

同窓会会長 久保 憲司



久保会長

平成15年5月に現在の役員体制となって、早15年目を迎えました。

それまで卒業生の名簿管理に集中していた活動を現役学生にも目を向け、就職支援講演会や社会見学会の実施、学園祭への出展参加・活動費補助といった様々な支援活動を行ってきました。また、地域との連携強化の意味から、学舎の北側を流れる「佐保川」の清掃活動に毎年参加するとともに、船橋通商店会様とのコラボ活動も少しずつ充実してきました。こうした活動の一端を広報誌「ふなはし」でお伝えし始めて今回で第10号の発行となります。

今年度からは大学の基金活動に賛同し、会員の皆様にも協力を呼び掛けています。側面的に見ればその活動内容はすそ野を広げ、活発化してきていると思われます。しかしながら、活動主体である役員は相変わらず「少数精鋭」的であり、役員個人々の献身的なボランティア精神に支えられ、相当な負担がかかっています。現役学生の同窓会行事への「スタッフ参加要請」を通じて、同窓会の知名度を上げる対策を行っていますが、その効果はまだ限定的です。昨年の総会でも役員募集についてお願いしてまいりましたが、「体制充実」には程遠い現状です。こうした状況を踏まえ、今年度は卒業期ごとに世話役をお願いし、ホームカミングデーへの出席要請業務を分担していただくほか、特に社会的現役世代をリタイヤされた60歳以上の卒業期のOBに集中して、積極的に役員募集を行っていきたく考えています。

「同窓会活動自体が魅力的で楽しい活動になる」ことこそ「活動の機軸」であり、会の継続・発展の要であることを肝に銘じております。

年頭に当たり、会員各位のご多幸をご祈念申し上げ、同窓会を代表しての御挨拶とさせていただきます。

公立大学のネットワーク構築へ

奈良県立大学学長 伊藤 忠通

奈良県立大学は、平成27年度より公立大学法人になり、中期目標を達成するため、6年間の中期計画にしたがって大学運営に取り組んでいます。公立大学は平成期に急増し、現在88大学となり、今後も増加する予定です。各大学は、比較的小規模ですが、それぞれ特色をもっており、公立大学全体として多様性に富んでいます。

現在、地方創生が国政の重要課題となり、地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服することが目指されていますが、地方の大学、とりわけ公立大学にはこれまで以上に大きな期待が寄せられています。公立大学は、地方自治体が設置する大学として、地域における課題の解決に取り組む使命を有しています。公立大学の魅力を向上させ、地域課題を解決し、施策を推進するためにも、設置団体及び公立大学が互いに連携していく必要があります。

しかし、各公立大学は、特色ある教育研究を行っていますが、比較的小規模であるため、多様化、複雑化する地域課題の解決に取り組むには限界があります。全国の公立大学が連携し、ネットワークを形成すれば、教育・研究・地域貢献という3つの機能を通じて、優れた地域人材を育成し、多様な、また広域的な地域課題の解決に貢献することにより、地方創生の推進エンジンとなりえます。そこで、公立大学のネットワークを構築すべく、まずは、平成29年度より、奈良県立大学・兵庫県立大学・宮城大学の3公立大学が連携し、学生と教員の相互交流による共同教育プログラムの開発に取り組みます。



伊藤学長

第48回(平成28年)奈良県立大学同窓会総会

於 2016年10月2日(日)

同窓会副会長 高島 邦子

平成28年総会が大学地域交流棟「中研修室」にて、10月2日(日)11時から12時30分まで開催されました。

▼開会宣言▼

司会は、地域創造学部3回生で秋華祭実行委員会の副委員長の中川恵里香さんが担当して、開会宣言を行って進行役を務めました。

▼久保会長 挨拶▼

奈良県立大学は夜間短大として開学以降、夜間の大学、昼間の大学へと着実に進歩を遂げてきて、ここ数年は建物の整備が進められています。

同窓会は『ふなはし』に愛称が決定して、会報も9号まで発行されています。約6,800名の卒業生に、今回の総会の案内状を今までの宛先不明者を含めて約6,200通お送りして、不明返送された分を除くと、約4,000名に届きました。新しい顔ぶれの出席者を拝見して、より多くの会員の方に連絡が取れたことを喜んでおります。今後も、お互いに横の連絡を取り合う活動をして、名簿の精度の向上を図っていきたくて思っております。大きな行事に現役の学生がスタッフとして参加していただく試みを始めておりますので、今後とも学生の皆さんの同窓会活動へのご協力をお願いしたいと思っております。

▼来賓ご祝辞 学長 伊藤忠道先生▼

「昭和28年に短大として発足した63年の歴史のある母校へ、ようこそいらっしゃいました。私は平成2年から赴任しております。大学のハード面では、整備計画が少し遅れていますが、1号館と2号館の耐震補強工事が終わり、新しい建物への建て替え工事が数年かかると思っています。ソフト面では、法人化して2年目を迎え、交換留学生制度は中国、台湾、英語圏へと国際交流を進めていく計画です。

今回、学生支援のために『基金』を設立することとなり、特に同窓会員の方々にご協力を頂きたいと考えております。目的としては、大学独自の奨学金制度の原資や研究資材費等を予定しております。

また、3年前から『シニアカレッジ』を開講しています。社会人を対象に年齢を問わず、高校の教科書で学び直す機会を提供して、盛況を博しています。今年は1,200名の応募があり、抽選で810名余りが、大学キャンパスと桜井市まほろばセンターで1年間通して、6講座をそれぞれ受講しています」など、大学の現状と法人化以降の目指すべき大学の新しい取り組みについて、ご説明いただきました。

▼議事▼ 最初に京本勝弘理事を議長に指名して、議事進行が図られました。

(議案の詳細は、次ページに掲載しています。そちらをご参照ください。)

▼その他▼ 『基金募集について』

林理事(事務局長)から、施設および設備等の整備ならびに学生支援等のための事業を実施することにより大学教育研究の質の向上を図り、優れた人材の養成を図るため、「教育研究支援基金」を設置した目的と使途が資料に基づき説明されて、同窓生の協力をお願いされました。

『秋華祭について』



林理事

大嶋ひで香実行委員長から「51回目を迎える『秋華祭』は地域の人との交流の場であり、11月6日(日)10時に開始して、模擬店の増加、シニアカレッジ有志のステージ、船橋商店街とのイベント等多彩なプログラムで盛り上がりたくて思っていますので、多数の同窓会員の来場を期待しています。」と、熱意を語られました。

司会の中川さんが閉会宣言をして、来賓2名、同窓会員68名(短大37名、商大9名、県大6名、役員9名、在学生7名)が参加された総会が終了しました。



京本議長



大嶋さん

◆ 総 会 議 案 ◆

●第1号議案

「平成25年度から27年度の活動報告」

平成25年度の主な活動では、①総会および60周年記念祝賀会開催、②新組織で総務部、事業部、広報部の3部を副会長2名で担当、③同窓会の愛称が「ふなはし」に決定、④大学秋華祭に「抽選会」を出店等です。

平成26年度では、①佐保地区連合会・佐保川対策清掃委員会主催の佐保川清掃に参加、②就職支援講演会開催、③ホームカミングデイ開催、③会報を年1回発行に変更等です。

平成27年度では、新組織体制として総務部長を高島邦子副会長、事業部長を横林清子理事、広報部長を千葉朱穂理事が担当することになり、その他の活動は従来どおりです。



●第2号議案

「平成25年度から27年度の決算報告」

収入では、①会費は入学者が増えて予算より増額、②ホームカミングデイ参加費は予算より減額、③雑収入は寄付金があり予算より増額して、合計では予算より増額しました。

支出では、①役員交通費を新設、②大学改革協力金は予算計上したが支出せず、③ホームカミングデイ費は予算より大幅に超過、④その他の項目では予算よりも減額したので、合計すると予算より大学改革協力金相当額が支出減となりました。次年度の予算編成では、ホームカミングデイ費を増額したいと思います。

次年度繰越金は850,000円余り増えました。預金通帳を大学の管理から同窓会に返還されましたので、普通預金から定期預金に2,000,000円振り替えました。

●第3号議案

「平成25年度から27年度の監査報告」

8月に関係書類を監査した結果、各年度の決算について相違ないことを曲淵和子監事から報告がありました。

第1号議案、第2号議案、第3号議案について、会場から質問がなく、拍手により賛成多数で可決されました。

●第4号議案

「新役員選出」

①会長、②副会長1名、③監事2名、④理事10名、⑤名誉会長1名、⑥顧問1名の総勢16名の役員が選出されました。

(総会に出席された中村昇顧問は平成29年1月8日に急逝されました。ご冥福をお祈りいたします)。

●第5号議案

「平成28年度から30年度の活動計画(案)」

平成28年度の主な活動では、①佐保川清掃参加、②学生会執行委員会交流会実施、③就活支援講演会開催、④総会開催、⑤サポーター登録制度開始、⑥SNS(フェースブック)運用開始、⑦秋華祭参加、⑧名簿整理、⑨会報発行です。

新しく開始するサポーター登録制度とSNS(フェースブック)運用については、担当の千葉広報部長から配布した資料に基づいて詳しい説明が行われました。

サポーター登録制度は、行事のみに参加できる方を登録して、同窓会への理解を深めていただくものです。

また、SNS(フェースブック)は、郵便物が届いていない会員にもSNSを通じて同窓会のことを知っていただくために行うものです。

平成29年度および30年度では、ホームカミングデイを開催して、その他の活動は従来どおりです。新しく取り組むテーマが見つかった場合は、随時、活動を開始したいと思います。大学の「基金」についても、同窓会が全面的に協力します。



●第6号議案

「平成28年度から30年度の予算(案)」

支出について新たに「慶弔費」を設定し、「大学改革協力金」「秋華祭広告費」「ホームカミングデイ費」を実情に合わせて増額したいと思います。

第4号議案、第5号議案、第6号議案について、会場から質問がなく、拍手により賛成多数で可決されました。

▼記念撮影・懇親会▼

屋上での記念撮影を済ませて、13時から15時まで、3階に移動して懇親会を行いました。

司会の中川さんから開会の挨拶で、お手伝いの在学生7名の紹介がありました。乾杯のご発声は、今年もお元気に参加された短大1期卒業生の木村由一さんをお願いしました。

林理事からは、ご来賓の挨拶を頂きました。

今回は工事中のため生協の厨房設備が使えなくて、例年のような温かい料理やグラスコップを準備できませんでしたが、用意した料理も瞬く間に無くなり、歓談が弾みました。

途中で、主催者を代表して横林事業部長からお礼の挨拶が述べられました。その後しばらく歓談が続き、時間通りに閉会しました。

途中で、主催者を代表して横林事業部長からお礼の挨拶が述べられました。その後しばらく歓談が続き、時間通りに閉会しました。

以上のとおり、3年に一度の総会は無事に終了できました。



若草山の見える地域交流棟の屋上にて記念撮影

ご来賓、同窓会員ならびにスタッフの学生の皆様、ご協力有難うございました。来年は「ホームカミングデイ」を開催しますので、よろしく願いいたします。

2017年同窓年会年間スケジュール

詳細な日時は予定が決まり次第、同窓会HP掲載告知、ホームカミングデイ案内は葉書でお知らせします。

5月：事業部ボランティア活動

(佐保川清掃活動に今年度も参加予定。)

夏時期未定：学生支援交流会

10月：ホームカミングデイ

11月：大学祭「秋華祭」模擬店参加支援

春：卒業式 同窓会会報発行 他・・・

『ふなはしサポーター』 募集しています

●「同窓会サポーター」を募集しています。イベントや活動時に一日だけ簡単な作業などのお手伝いをしていただける方を募集し「ふなはしサポーター」として登録します。(活動仕事内容によっては些少の謝礼も有ります。)OB・OGだけでなく、現役学生の方も登録可能です。皆様のご参加をお待ちしています。

▽詳細は 事務局連絡先へ直接、役員又はEメール
npu_dousoukai@yahoo.co.jp までご連絡を…。

OB・OG だより

OB・OGの皆様のご活躍を
掲載していきます。

1995年卒業(商3期) 楠本雅章
NPO法人屯鶴峯地下壕を考える会・理事長

昨年2016年7月30日、奈良県内において「NPO法人屯鶴峯地下壕を考える会」理事長を務めておられます楠本雅章さん(商大3期)が、顕著な人権文化活動を展開した団体として、第7回(2016年度)奈良人権文化選奨に選ばれ表彰を受けられました。おめでとうございます!

奈良県は古い神社仏閣がある文化都市で、戦災とは縁遠いものと思われていましたが、奈良県香芝市にある「屯鶴峯地下壕」は西日本最大規模で第一級の戦争史跡として存在します。

地下壕の内部は、東(E)西(W)ニカ所の地下トンネルで高さ3m幅3m全長2kmにわたり、「あみだくじ」状に堀削され、監視所や砲台の後と思われる個所が見当たります。

太平洋戦争の末期本土決戦をするために、九州などに残存していた戦闘機をすべて大正(現在の八尾空港)飛行場に集結させ、特攻作戦(戦闘機で敵艦に体当たりする)の命令を行う戦闘指揮所として、敗戦(1945年8月15日)の約3ヶ月前から造られました。1993年より屯鶴峯地下壕の史実を伝えるために、年に数回市民見学会を開催しています。



「戦争」は過去のものとなりつつあり、地下壕壁の表面は触れただけでパラパラと剥がれ落ちるように、戦後72年を経て地下壕の壁が風化してきています。戦争の悲惨さ、残酷さが次第に忘れられ、人々の記憶から風化していくことを憂慮します。

平和の尊さを学び、後世に真実を正しく伝えるために、「屯鶴峯地下壕」の保存を進めていかなければならないと思って活動を行っています。

佐保川清掃報告 2016年5月15日(日)

同窓会監事 曲渕和子

平成28年5月15日(日)第57回佐保川清掃が実施され、今年も同窓会から役員を中心に清掃ボランティアとして参加しました。

朝7時55分に佐保小学校校庭に集合し、開会セレモニーに続いて清掃の段取り説明を受け、各区域に分かれて清掃作業を行いました。

私たちの担当区域は、大学校舎の北側、永楽橋からJR鉄橋までの堤防沿いです。



清掃の基本は、雑草刈りで、草刈り鎌は、主催者の方が準備されていますので、作業で怪

我の無い様に、軍手と汗拭きタオル、汚れてもいい服装で作業を行います。

桜の頃には多くの観光客が訪れる地域ですので、「さぞゴミも多いか」と思いきや、地域の皆さんが普段から環境に気をつけておられるのかゴミはあまり見当たらず、草刈り作業だけでした。

今年は会長がエンジン草刈り機を自前で持ち込み、作業が大きく捗った清掃となりました。

校舎から望める佐保川の一部の清掃活動ですが、地域貢献として意義のある活動だと思いますので、今後とも継続していきたいと感じました。



平成28年11月6日（日）に、第51回秋華祭が奈良県立大学にて開催されました。

今年の秋華祭も吉本芸人のライブや船橋商店街とのコラボ企画ありと、まさに地元との地域連携がなされていると実感しています。また、地元の皆様の参加も多く「世代を超えた交流」ができており、奈良県立大学が地域とのコミュニケーションの核になり、より良い関係が築ければと思いました。



同窓会の抽選会も今回で4回目となり、1等賞は新米、2等賞は奈良土産菓子、3等賞は同窓会記念ボールペン、参加賞はティッシュを用意させていただき、楽しい抽選会になりました。特にお米は人気

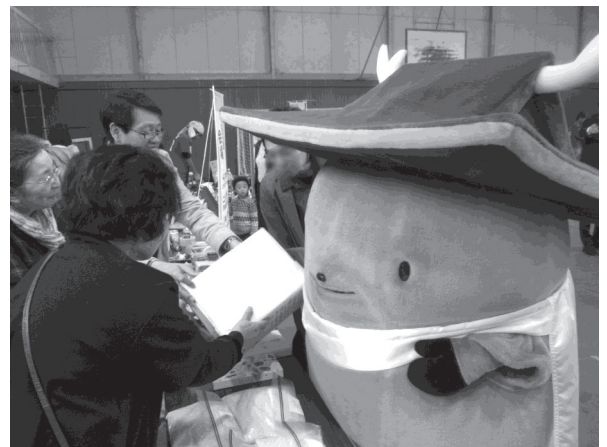


で、親元を離れ下宿している学生からは「絶対お米!」と何回もクジにチャレンジしていましたが、欲望が強いため?引き当てることができ

ず、逆に子供が引き当てたり、同じグループの人が連続で引き当てるなど盛り上がりました。「絶対お米!」と言っていた学生も多く、自炊して堅実な生活することは、社会に出ても一つのアドバンテージなることから、後輩へ「頑張りや!!」とエールを送りたいと思いました。

天候は、あまり良くなく、同窓会役員も高齢?のため、寒さには弱く大変でしたが、学生の熱気により昔を懐かしんで楽しませていただきました。

最後に、大学では地域交流棟も完成し、また一つ新しくなった県立大学では是非同窓会等を企画され皆様も足を運んでいただけたらと思います。



まんと君もチャレンジ!

同窓会事務局からのお知らせ

●同期会やゼミ会のご報告を募集しています。

懐かしい友との再会のご寄稿お待ちしております。またゼミ会同期会報告や日時のお知らせも会報(年一回3月発行)では受け付けていますので12月末までにご連絡いただければ会報に掲載します。会員の皆様の交流の場としてご利用下さい。

●同窓会では役員募集をしています。

同窓会活動の各種事業を一緒に企画・お手伝い頂ける方の参加をお待ちしています。(在学生も歓迎)

▽連絡先はこちら: 直接役員へ、又は同窓会事務局Eメール

npu_dousoukai@yahoo.co.jp までご連絡ください。

●広報部は会報記事をご寄稿をしていただける方を募集しています。OB・OGの方々のご活躍の様子など情報をお寄せいただければと広報部が取材に伺います。→

Webサイト『奈良県立大学同窓会』で検索。

<http://奈良県立大学同窓会.jp>

◆奈良県立大学同窓会ふなはし◆

facebook グループ始めました

<https://www.facebook.com/groups/funahashi/>

★上記 URL もしくは
右 QR コードにアクセス



◎同窓会ホームページ◎

「奈良県立大学同窓会 Web」もよろしく

<http://奈良県立大学同窓会.jp>

ふなはし

広報部Eメール: kouhoubu@npudousoukai.verse.jp

まで、是非、ご情報をお寄せ下さい。